

今後の進め方について(案)

1. 中期目標にむけた取組進捗指標等の検討について

目的 改定基本計画で定める目標やプログラムの進捗、成果・効果を把握する

検討内容 中期目標やプログラムの評価指標となりうる項目を難易度と共に検討する

方針 中期目標の達成は、各プログラムの取組みの総合的な評価結果をもとに判断する
中期・中間評価結果を得て、プログラムの集約や取組の効率化についても検討する

【中期目標】

流域治水がみんなの生活のあたり前

コウノトリが身近に

環境が豊かに

暮らしがにぎわう

取組進捗指標

改定基本計画で定める
4つの中期目標の達成状況を
把握できる指標

【各プログラム】

共通

たね地づくり

定着地づくり

人・地域づくり

実施状況を把握する項目

各プログラムの取組推進の進捗、
成果・効果を把握できる指標

中期目標の 「取組進捗指標」 の候補(案)

中期目標 (2030年)	「取組進捗指標」候補(案)	整理難易度*	設定理由
コウノトリの関東地域個体群の形成が進むとともに、コウノトリをシンボルとする国内各流域のエコネット事業地間から東アジアに至る個体群間の交流がはじまっている。	関東地域における生息個体数	○	「関東地域個体群の形成」の目安となる指標
	繁殖ペア数・巣立ちヒナ数	○	
	「コウノトリ溜まり」の形成箇所数およびその形成エリア	○	
	関東地域への地域外からの飛来個体数	○	「エコネット事業地間から東アジアに至る個体群間の交流」の目安となる指標
	関東地域から地域外への飛来個体数	○	
コウノトリやトキの関東地域個体群が自活して繁殖・生息が可能となる湿地環境等の改善や創出が、堤外・堤内における関連主体の役割分担に応じ流域一体で進められており、河川と水田がつながることで淡水魚があふれている。	堤内・堤外の治水・農地事業等における湿地環境改善・創出の件数・面積	○	「淡水魚の増加」に相当する指標を設定する。 <small>※評価には広域での「淡水魚」の定量データが必要であるが、適するデータが存在しないため、上記を設定する。なお、これらについても収集の仕組みを整える必要がある。</small>
	水域連続性確保箇所数	○	
コウノトリ・トキと共にくらせる地域を誇りとし、地域経済及び社会を構成する様々な主体の賑わいに基づいた、持続可能で魅力ある地域づくりが進められている。	関東エコ・ネット関係主体による交流学習の実施件数	○	「地域経済及び社会を構成する様々な主体の賑わい」に関する指標を設定する。
	拠点施設等におけるエコネット・プログラム実施件数	○	
	関係自治体、エリア協議会における環境価値を重視した農産物・商品数、及び地域還元方策の取組数	○	
	関係自治体、エリア協議会におけるセクター間の交流・連携・協働の取組実施数	△	
	関東エコ・ネットの取組みに参加する機関・団体等数(※)	◎	
	交流拠点施設の入込客数・利用者数	◎	
グリーンインフラの概念による流域治水の取組みが主流化し、コウノトリ・トキのほかにも関東各エリアの地域特性に基づく指標種を加味した、個性豊かなエコロジカル・ネットワークの形成が促進されている。	エコロジカル・ネットワークの取組み数	◎	「個性豊かなエコロジカル・ネットワークの形成が促進されている」に相当する指標を設定する。
	指標種を掲げた計画・取組数	◎	
	関東エコ・ネットの認知度	△	

* 整理難易度 ◎:事務局が公表情報等から簡易に情報の収集・整理が可能
○:情報として存在するが、情報を持つ主体による情報の提供等が必要
△:情報として存在せず、別途、調査等の実施が必要
※関東エコ・ネット取組登録制度(案)における登録者・団体数を想定

各プログラムの実施状況を 把握する項目候補(案)

(1) 共通プログラム

プログラム	「実施状況を把握する項目」候補(案)	整理難易度*
① コウノトリ・トキ等を指標とした生態系ネットワーク形成に係る関連計画、アクションプラン等の作成・改定・連携	エリアや各主体における関連する計画、アクションプラン等の策定状況	○
② 関東エコロジカル・ネットワーク推進協議会、専門部会、各エリア協議会等の設置・開催による継続的な取組みの推進	関東エコ・ネットに係る各会議の開催状況	○

(2) たね地づくり

プログラム	「実施状況を把握する項目」候補(案)	整理難易度*
① 飼育および放鳥コウノトリに係る情報の共有等、関東関係機関連携の推進	部会・協議会・勉強会等でのコウノトリに係る情報の共有(回数等)	◎
② トキの野生復帰に向けた情報の収集・共有・支援	部会・協議会・勉強会等でのトキ関連の情報の共有(回数等)	◎
③ 専門機関、全国のエコネット関係事業地との情報共有・連携の推進	専門機関、全国のエコネット関係事業地との情報共有・連携の実施状況	○
④ 生息域外保全の推進・支援	部会・協議会・勉強会等での各主体からの飼育・繁殖・放鳥の実施状況等に関する情報提供(回数等)	◎
⑤ 適正な放鳥・繁殖の促進・支援	放鳥にあたっての遺伝的多様性確保の実施状況	○
	足環装着の実施状況、体制	○
	部会・協議会・勉強会等でのコウノトリの放鳥・繁殖状況に関する情報の共有(回数等)	◎
⑥ <u>関東広域の救護・事故防止対策への効果的な取組の推進【重点】</u>	救護・事故防止に係る勉強会開催回数、参加者数	◎
⑦ 関東広域等における見守り体制ネットワークの検討・連携	見守り活動グループ・団体数、参加人数	○
⑧ <u>関東地域のコウノトリ・トキの野生復帰・エコネットに関する認識・理解の促進【重点】</u>	関東エコ・ネットHPアクセス数	◎
	連携イベントの連携施設・機関数と開催イベント数	○
	関東エコ・ネットの取組みに参加する機関・団体等数(※)	◎

* 整理難易度 ◎:事務局が公表情報等から簡易に情報の収集・整理が可能
○:情報として存在するが、情報を持つ主体による情報の提供等が必要
△:情報として存在せず、別途、調査等の実施が必要
※関東エコ・ネット取組登録制度(案)における登録者・団体数を想定

各プログラムの実施状況を 把握する項目候補(案)

(3) 定着地づくり

プログラム	「実施状況を把握する項目」候補 (案)	整理 難易度*
① コウノトリ餌生物量調査マニュアル等による調査実施と調査手法の更新・普及、コウノトリ・トキの生息環境ポテンシャル評価の検討	調査実施箇所数、実施団体数	○
	生息環境ポテンシャル評価実施数	○
② 河川整備計画や流域治水プロジェクトに基づく生息環境整備の適地選定と事業推進手法の検討・実施	生息環境整備の適地選定数	○
	推進手法の検討事例数	○
③ コウノトリの確認地点情報や生態的特性、生息環境整備の現状・計画等の分析評価に基づく「関東地域個体群形成戦略」の検討	個体群形成戦略(効果的な整備地(優先順位)・事業内容の選定)	◎
④ 国・自治体等による指標種の生息環境整備に関する計画や活動の整理と取組成果の検証・評価の推進	計画や活動の実施数	○
	有効な取組みメニューの事例数	○
⑤ 多自然川づくりや自然再生事業、治水工事に伴う湿地整備等のコウノトリやトキ等の生息に資する既存河川事業地の分析・整理の実施	生息環境整備の実施数	○
	河道掘削や調節池整備等の治水事業と指標種の生息環境整備との一体的推進方策の検討・実施	生息環境向上事例(堤外地)集の作成
⑦ 連携・協働による生息環境整備(保全、再生、創出、管理)推進のための体制拡充	順応的管理の事例数	○
	情報共有の機会数	○
⑧ 上～下流や水域・湿地間等の魚道整備・改善、水位調節等による河川の水系連続性の確保	連続性確保の実施数	○
	農地における環境に配慮した事例数	○
⑨ 有機農法や冬期湛水、水田魚道等のコウノトリやトキ等の生息に資する既存農地の分析・整理の実施	生息環境向上事例(堤内地)集の作成	○
	指標種をはじめとする生物多様性に富んだ安全・安心な農法・農業の推進	情報共有の機会数
⑩ 田んぼダム、ため池水位管理等の流域治水プロジェクトにおけるコウノトリ・トキ等の生息に資する生産基盤整備の検討・実施	⑨と共通	
	⑨と共通	
⑫ 河川～用水路や水域・湿地間等の魚道整備・改善、水位調節等による農地の水系連続性の確保	連続性確保の実施数	○
	繁殖ペア数・巣立ちヒナ数	◎
⑬ エコネットと流域治水の一体的推進によるコウノトリ関東地域個体群形成への進展【重点】	「流域治水等と連携した関東地域コウノトリ生息環境創出・改善プラン」の策定状況(策定エリア数)	◎
⑭ 地域特性と各プログラムの統合化による生息環境整備の計画作成・実施【重点】	人工巣塔整備方針(案)の検討事例数	○
	上記検討を踏まえた人工巣塔設置数	○
⑮ なわばりや地形条件、周辺環境との調和等に留意したコウノトリ人工巣塔適正配置の検討・支援	樹林地保全のための条例等の制定事例数	○
	樹林地保全を目的とするNPO等の数、保全イベントの実施数	○
⑯ コウノトリやトキの営巣適木や営巣樹林の育成・保全・管理の検討・支援	樹林地保全のための条例等の制定事例数	○
	樹林地保全を目的とするNPO等の数、保全イベントの実施数	○

* 整理難易度 ◎:事務局が公表情報等から簡易に情報の収集・整理が可能
○:情報として存在するが、情報を持つ主体による情報の提供等が必要
△:情報として存在せず、別途、調査等の実施が必要

各プログラムの実施状況を 把握する項目候補(案)

(4) 人・地域づくり

プログラム	「実施状況を把握する項目」候補 (案)	整理 難易度*
①各エリア等の地域振興・経済活性化に効果的な情報収集・整理・共有	「人・地域づくり」の取組情報数・情報発信件数	○
②エコネットの事業展開に基づく経済波及効果の試算と検証	関東エコ・ネット関連事業による経済波及効果の試算・検証件数	△
③エコネットの形成がもたらす多面的効果の検証(生物多様性・防災・減災・癒し効果等)整理	関東エコ・ネット関連事業による多面的効果の検証件数	△
④エコネット事業への多様な参画主体の意識動向の把握	関東エコ・ネット関連事業に関する意識動向の把握を目的とした(社会)調査件数	△
⑤コウノトリやトキ等とくらす地域学習プログラムの実施【重点】	拠点施設等における地域学習プログラムの実施件数	○
⑥様々な立場(高齢者・障がい者等)の参加を可能とする体験の場や機会の検討	様々な立場(高齢者・障がい者等)の参加機会の実施数・参加者数	△
⑦エコネットの効果的な推進に向けた関連情報の収集・蓄積・発信	関東エコ・ネット関連のマスメディア掲載件数	◎
⑧多様な主体が参加可能となる活動メニューの検討・実施・支援	多様な主体が参加する活動メニュー実施件数	△
⑨コウノトリ・トキ等の情報発信や観察拠点の開設・運営と集客アクセスの改善	拠点施設等の開設数・運営状況・来訪者数	◎
⑩コウノトリ・トキ等をシンボルとした野生動物観光の検討・実施・支援	野生動物観光等のエコツアー実施数	△
⑪環境価値を重視したブランド農産物・商品の開発・生産・販売促進と地域還元方策の検討・実施【重点】	環境価値を重視した農産物・商品数、及び地域還元方策の取組数	○
⑫各主体の役割に応じた取組みを安定的に支える活動資金の確保	活動資金の確保数(総額)	○
⑬エコネットを推進する人材育成(環境教育、地域づくり等)の支援	エコネットを推進する人材育成の事業数	○
⑭条例制定等による観察マナー・ルールの普及啓発と見守り隊の結成・活動促進	見守り隊、もしくはそれに類する活動の参加者数・実施数	△
⑮多様な主体の参加継続のための支援策(表彰・助成等)の検討・実施	多様な主体の参加継続のための支援策の件数	△
⑯産官学民セクター間の交流・連携・協働の促進【重点】	セクター間の交流・連携・協働の実施数	△
⑰広域連携ネットワークの推進	関東地域外との交流学習・交流事業の実施数	○

* 整理難易度 ◎:事務局が公表情報等から簡易に情報の収集・整理が可能
○:情報として存在するが、情報を持つ主体による情報の提供等が必要
△:情報として存在せず、別途、調査等の実施が必要

2. 中期目標実現に向けた今後の検討

(1) ロードマップの検討について

- 目的** 中期目標実現に向けて、「課題」を共有しながら関係機関と進捗を確認する
- 方針** 取組進捗指標、実施状況を把握する項目を用いて成果・効果の進捗状況を把握する
- ・進捗状況を確認できるように、チェックシートを作成する
 - ・過年度に整理した各プログラムの課題に係る課題解決を図りながら推進する

【ロードマップイメージ(案)】

プログラム	取組成果	ロードマップ				
		2023	2024	2025 中間評価	...	2030
たね地づくり	...					
定着地づくり	...					
人・地域づくり	...					

+α 追加項目

取組進捗指標
実施状況を把握する項目

各プログラムの課題

役割分担

2. 中期目標実現に向けた今後の検討 (2) スケジュールについて

中期・中間評価と併せて基本計画プログラムの整理と見直しを行い、
中期目標達成に向けエリア協議会や地域で活動する団体等が機動的・自立的に実現可能な改定を検討。

年度	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2026	2030	2050	
	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R1	R2	R3	R8	R12	R32	
	検討段階				実行段階			実現段階		短期目標達成段階			中期目標達成段階		到達目標		
	Phase1										Phase2			Phase3			
◆ 広域ブロック自立施策推進調査	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 第三回 ◆ 第一・二回 				<ul style="list-style-type: none"> ◆ 第四・五回 ◆ 第六回 			<ul style="list-style-type: none"> ◆ 第一回 ◆ 第二回 ◆ 第三回 ◆ 第四回 ◆ 第五回 ◆ 第六回 		<ul style="list-style-type: none"> ◆ 第七回 ◆ 第八回 			<ul style="list-style-type: none"> ◆ 第九回 		<ul style="list-style-type: none"> ◆ ネット形成、取組みへの活発な多様な主体の参加が促進している。 ◆ グリーンインフラとしての流域一体となった湿地環境の改善、エコ ◆ コウノトリ関東地域個体群形成および全国・アジア等との交流や、 		<ul style="list-style-type: none"> ◆ 社会が調和した持続可能な社会が形成されている。 ◆ 自然を活かした賑わいのある地域づくりが進み、環境と経済と ◆ コウノトリやトキが普通種になり、

3. 関東エコ・ネット推進協議会とエリア協議会の連携

(1) 相互補完的な望ましい連携の検討

- 関東エコ・ネット（推進協議会）が考える全体プランの共有のほか、各エリア協議会、関係行政機関（農政局、環境事務所等）との交流と情報交換の場として「関東エコ・ネット関係機関連絡会議（仮称）」を設定。
- 行政間ネットワークをつなぐ場として、横断的に情報交換・意見交換を行い認識の共有を図る。
- エリア協議会が抱える課題やテーマを議題として、関東エコ・ネット（推進協議会）の委員の助言・相談の場としても活用。

Plan

関東エコ・ネット推進協議会

関東広域における生態系ネットワークの形成や流域治水を踏まえたグリーンインフラ整備のほか、地域振興等の**目標となる計画を策定**。

関係省庁、有識者、専門家、関係自治体で構成され、エリア協議会や関係自治体等が必要とする技術的・専門的情報を集約し検討を行う。
エリア協議会や地域で活動する団体等が活用可能な全国の事例収集も行う。

link

関東エコ・ネット 関係機関連絡会議 (仮称)

- 横断的に情報交換・意見交換を行う場として定期開催
- 関東地整、関係河川事務所、関係自治体、関東農政、関東環境事務所等の実務担当者
- 年1回定例（4～5月頃）
昨年度の振り返り
当年度の実施内容確認
臨時開催の予定・希望
- 臨時開催（課題・テーマ毎）

Action

エリア協議会

コウノトリ・トキをシンボルとして地域振興を目指すエリアにおいて、関東エコ・ネット推進協議会で設定した**目標を地域性・独自性を踏まえ実践**。

河川事務所、有識者、専門家、関係自治体、地域で活動するNPO等で構成され、地域連携や協働活動のための合意形成を図り、「エリア協議会アクションプラン」等を設定し、実践を推進・支援することによって、関東広域エリアの計画目標に貢献。

※ 関東エコ・ネット推進協議会による「基本計画」とエリア協議会による「アクションプラン」等の整合を図る必要がある場合は、情報交換の上で改定等を行っていく。

3. 関東エコ・ネット推進協議会とエリア協議会の連携

(2) 中期目標実現に向けた連携

● 中期目標実現に向けた共通プログラム②の実践

- 共通プログラム②「推進協議会、各エリア協議会等の継続的な取組の推進」として、関東広域と各エリアの相互補完的な連携の場となる「関東エコ・ネット関係機関連絡会議（仮称）」を設置し、2024年度より2030年中期目標まで試行。
- 中期目標の評価時（Phase3の前）に改めて運用方法やあり方について関係者と確認する。

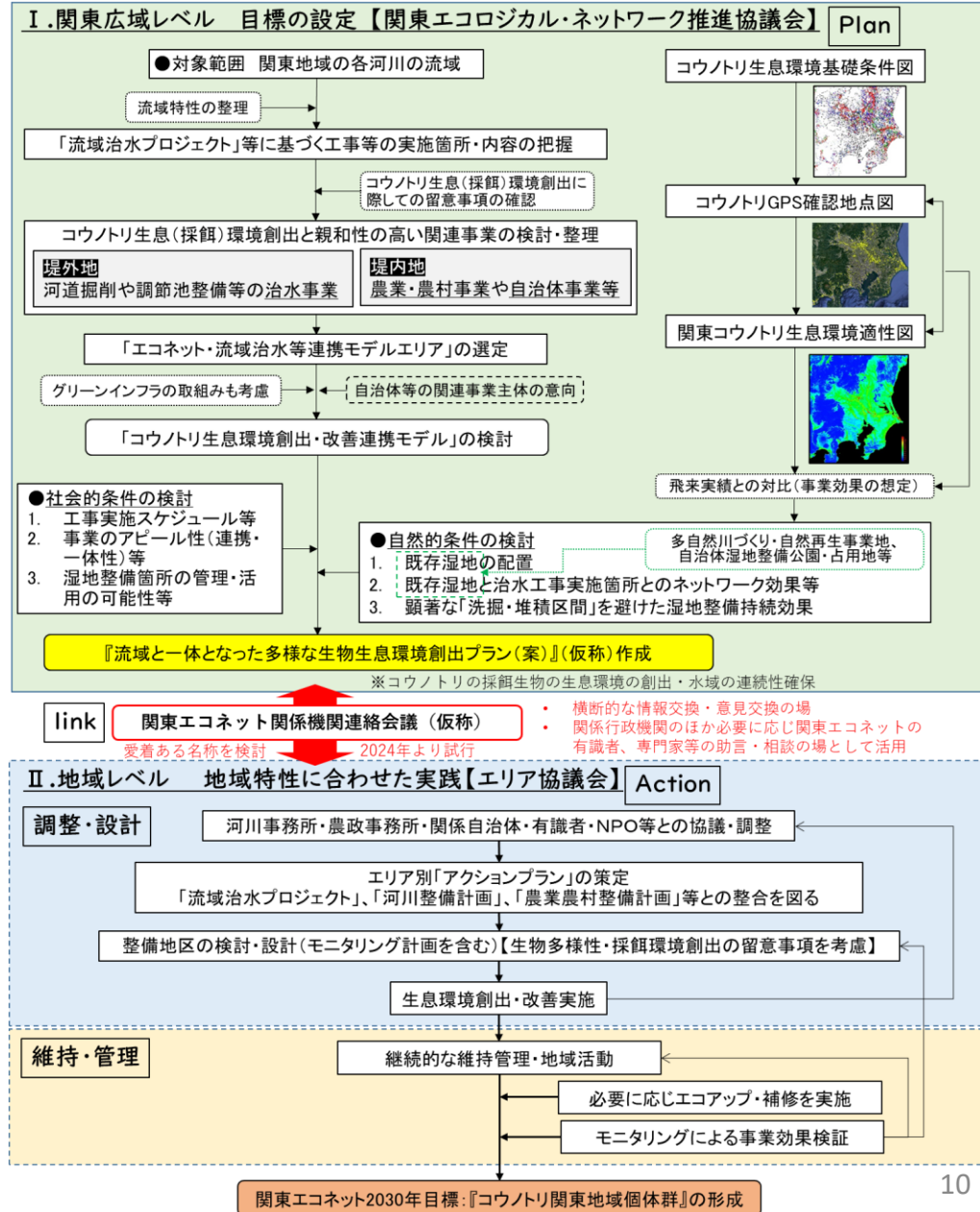
● 関東エコ・ネット関係機関連絡会議（仮称）

- 関東レベルと地域レベルの生息環境整備の連携について、双方が継続的に関わっていく仕組みの試行。
- エリア協議会や自治体への提案や相談・アドバイス等が可能となる場としてモデル地域以外にも応用。
- 関東エコ・ネットやエリア協議会、自治体フォーラム等に参加を検討している自治体の参加も検討。

● 関東エコ・ネット関係機関連絡会議（仮称）の名称

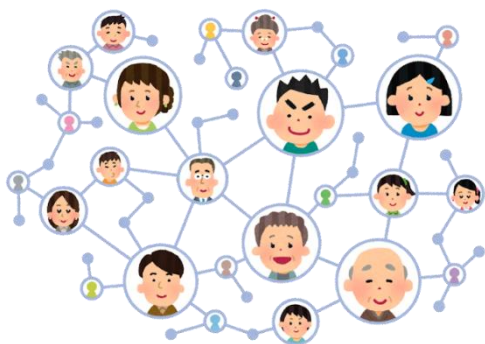
ネットワークが広がり、気軽に質問・相談できる場として、また、開催時に集まった実務担当者が気軽に発言・質問できるような場となるよう、愛着ある名称を検討。今後、名称案を検討し、2024年4月～5月に開催する初回時に参加者の意見により決定したい。

Ex) 関東エコ会議、関東エコネット会、エコネット倶楽部、
関東エコlink



4. 関東エコロジカル・ネットワーク登録制度の検討

関係する取組を行っている全ての主体に「関東エコ・ネット関係者」となってもらふことで、担い手や取組の幅を広げ、認知・理解向上をめざします。



<制度推進によるメリット>

- 関連取組や取組主体の情報が集まる
- 関東エコ・ネットに直接関わっていない主体も含めた取組みのすそ野が広がる
- 関東エコ・ネットやコウノトリに関する周知が進む

目的	<p>関東エコ・ネットの普及・啓発と取組みの輪の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 一般市民や事業者等も関東エコ・ネットの取組みの担い手として位置づけ、誰もが担い手となり得ることの周知を行い、<u>取組の拡がり</u>、<u>担い手の拡充・発掘</u>につなげる。 ● 小さな取組から大きな取組まで、取組とその主体をつなげることによって、<u>関東エコ・ネットへの理解と親しみが増す</u>仕掛けとする。 ● 登録団体・登録者数は取組みの拡がり・理解促進の目安（取組進捗指標）とする。
（制度によってめざす成果等）	
対象	<p>関東エコ・ネットに寄与する取組を行う全ての主体 （「関東エコ・ネット取組メニュー（仮称）」を実践する全ての主体）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市民（個人）、市民団体、企業・事業者（農業・観光関係者含む）、教育機関（学校・大学等）等 ● 関東エコ・ネット推進協議会、専門部会の委員・オブザーバー、ワーキングメンバー、各エリア協議会関係者・関係機関等（自動登録）
制度概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 「関東エコ・ネットメニュー（仮称）」（関東エコ・ネット基本計画のプログラムをベースに、一般市民や市民団体、民間企業などの参加を想定したメニュー一覧）から、既に行っている取組、これから行う取組みを1つ以上選び、関東エコ・ネット推進協議会事務局に申請して貰う。 ● 申請主体は特別な理由がない限り登録名簿に記載し公表する。
募集方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 関東エコ・ネットや関係機関・団体のHP、SNS ● 関係機関施設におけるポスター掲示 ● 関係機関が開催・参加するイベントでの募集案内（ちらし配布等） ● 関係機関から各地域のマスコミへの取材依頼 ● コウノトリの繁殖等のトピックとあわせた発信や取材時のアピール 等
2024年度の取組み（案）	<p>「関東エコ・ネット登録制度（仮称）」の実践に向けて、制度の試行も含めた以下の検討を進めるものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 登録制度の概要（対象、仕組み等） ● 登録団体等募集方法 ● 登録の拠り所となる「関東エコ・ネットメニュー（仮称）」の作成 ● 親しみやすい制度とするための呼称・イメージキャラクターづくり
将来的な取組み展開（イメージ案）	<ul style="list-style-type: none"> ● 専用のロゴマークやロゴマークを使った登録証の発行、専用の情報発信サイト（HP等）の開設 ● 連携イベントと結び付けた、情報やツール共有の仕組みづくり ● 登録者が取組を発信・交流する場（オンライン発表会等）の提供等